

○ 委員長報告

12月定例本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和7年12月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、とべ動物園におけるオランウータンの導入についてであります。

このことについて一部の委員から、とべ動物園に導入したオランウータンの飼育環境の整備に、どう取り組むのか。また、教育や観光などに、今後、どのように生かしていくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、とべ動物園の環境や来園者等に慣れてもらうため、インドネシアで研修を受けた飼育員が中心となり、丁寧かつ慎重に対応しながら、快適な飼育環境を整えていくこととしている。

また、オランウータンの来園を広く知ってもらうため、今月22日に、報道関係者限定のお迎えセレモニーを開催した後、一般向けのお披露目イベントを企画・実施し、集客力の向上を図るほか、自然保護や動物の命の大切さを学んでもらうなど、環境学習や情操教育の場の充実に取り組みたい旨の答弁がありました。

第2点は、愛ロード・愛リバー・愛ビーチ制度についてであります。

このことについて一部の委員から、愛ロード・愛リバー・愛ビーチ制度認定団体への支援内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県では、住民団体、NPO、企業などの自発的な清掃ボランティアを募集・認定し、地域住民等と協力して、公共土木施設の清掃美化活動を推進する愛ロード・愛リバー・愛ビーチ制度を実施している。

ボランティア団体に対しては、軍手・ごみ袋など活動に必要な消耗品や、ボランティア保険の加入経費を県が負担しているほか、企業協賛による飲料水を提供するなどの支援を行っている。

今後は、熱中症対策の更なる充実といったニーズも生じていることから、支援内容の見直しを検討するなど、ボランティアの取組が持続するよう努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、東温スマートICの整備効果についてであります。

このことについて一部の委員から、東温スマートICが開通した効果はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、東温スマートIC周辺は、愛媛大学医学部附属病院をはじめ、陸上自衛隊松山駐屯地や県警機動隊基地などの重要施設が集積しており、高速道路へのアクセス向上により、迅速な緊急搬送や円滑な救援活動等が可能となるとともに、利便性向上による周辺観光施設への誘客や企業立地の促進、雇用の創出など、地域経済の活性化に寄与している。

令和6年には隣接する田窪工業団地で新たな工場が操業を開始しており、現在、第2工業団地の分譲も完了したほか、北野田地区に大型商業施設の出店が決定するなど、すでにその効果が現れている。

県においても、スマートICの効果が最大限発揮されるよう利用促進に努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・土木技術職員の確保状況
- ・石手川かわまちづくり計画
- ・河川の維持管理
- ・12月補正予算の概要及び早期執行

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。